

インドネシア支援国会合 世銀が初の東京開催

1997.07.15 日本工業新聞 13頁 特集2 工特2 (全485字)

世界銀行は、十六、十七の両日、東京で「インドネシア支援国会合」(CGI)を開催する。世銀が開催するCGIは今回が六回目。過去五回はフランスのパリで開催されており、東京で開くのは初めて。

今回は、オーストラリアやベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、米、イギリス、韓国など十八カ国とアジア開発銀行、国際通貨基金(IMF)、国際金融公社(IFC)など十四の国際機関が参加する。

「インドネシアの経済発展の概況」と「インドネシアの人材育成」、「経済援助の概観」を主な議題として、インドネシアの経済開発を巡る課題や競争力の向上、格差是正に必要な人材育成への取り組みなどについて政策的対話が行われる。

インドネシアに対する国際支援は、六六年度から九一年度まで旧宗主国のオランダ政府主催による対インドネシア援助国会合(IGGI)が中核となって実施してきた。しかし、九二年、インドネシアとオランダの二国間関係上の理由から、IGGIに代わり、世銀主催のCGIが開催されることになった。日本は、インドネシアに対する最大の支援国という立場から、今回の会合でも主導的役割を果たしていく考えだ。

日本工業新聞社

インドネシア支援 総額約53億ドル 日本は2137億円拠出

1997.07.18 日本工業新聞 2頁 2面 工2面 (全492字)

世界銀行の主催で十八カ国、十一の国際機関が参加して東京で開かれていた「第六回インドネシア支援国会合」(CGI)で、支援国グループは十七日、インドネシアに対して総額約五十三億ドルの資金援助を決めた。このうち日本は、二千百三十七億円を拠出する。

日本は、来年最終年を迎えるインドネシアの第六次五カ年計画の実現に向けて、日本の政府開発援助(ODA)の果たす役割が大きいことから支援を決めた。

支援の内訳は、有償資金協力が総額一千九百五十二億四千八百万円、技術協力と開発調査を合わせた無償資金協力が百八十五億円。

有償資金協力は、第六次五カ年計画の最重要計画の一つに挙げられている「貧困撲滅」への協力として、後進村に対する道路・上水道などのインフラ整備をはじめ、運輸分野や水資源分野など十九件が対象。

一方、無償資金協力は貧困対策、保健・医療など。特に地域格差是正の観点から、東部インドネシア地方など東ジャワ島以外の地域を対象に協力する。

また、技術協力は研修員の受け入れなど二十六件、開発調査はスマトラ島でのインフラ整備など前年度からの継続案件十九件含む二十二プロジェクトで協力していく。

日本工業新聞社